

伊達 市議会だより

Date city Assembly

vol. 35 議会広報委員会
2014.8.28

一般質問 ②

6月定例会審議議案 ③

8月臨時会審議議案 ⑦

みなさんからの請願・陳情 ⑧

政務活動費の公開 ⑪



ふくごんじ

ほうきょういんとう

福巖寺六地藏・宝篋印塔（伊達市指定有形文化財）

福巖寺（伊達市箱崎字山岸2）に安置されている六地藏（写真左端）は、法印亮誉の代、宝暦年間（1750～60年）の建立と伝えられ、福巖寺の作とのこと。石塔の高さが3m、六枚の板碑は縦90cm、横35cmで、六面に地藏尊が浮彫りされている。昭和47年3月13日、旧伊達町の文化財に指定された。

宝篋印塔（写真右端）は、宝暦13年（1763）福巖寺法印亮誉の代に造られた。願主小野六衛門、石工信州（長野県）中村、北原三左衛門の作で、石造物として価値が高く、昭和56年2月18日、旧伊達町の文化財に指定されている。江戸時代からこの地方は蚕種の本場として信州地方と交流が盛んであったことを証明する歴史的遺産である。

6月定例会

一般質問では16人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。

問 一般質問 答

一般質問議員と質問項目

■6月10日登壇

■佐藤 直毅 議員

- 1.地域自治組織の構築について
- 2.地域包括ケアシステムの構築について
- 3.「安心して歳がとれ、子育てのできるまち」の実現に向けてについて

■八巻 善一 議員

- 1.伊達市の新たな自治組織について
- 2.伊達市上水道事業について

■丹治千代子 議員

- 1.子ども・子育て支援新制度について
- 2.障がいを持つ子どもの教育について
- 3.土曜授業について
- 4.介護保険の現状について
- 5.子宮頸がんワクチンの勧奨中止について

■菅野 喜明 議員

- 1.第69回全国植樹祭の誘致について
- 2.不法投棄への対策について
- 3.伊達市の復興をめぐる諸問題について
- 4.旧特定避難勧奨地点地区への施策について

■佐々木 彰 議員

- 1.防災無線デジタル化事業について
- 2.投票率向上へのとりくみについて

■6月11日登壇

■近藤 眞一 議員

- 1.消費税増税について
- 2.国民健康保険事業について

■小野 誠滋 議員

- 1.県北浄化センター放射能汚泥処理、市長の見解について
- 2.中山間地域振興対策について
- 3.防火設備の管理について

■中村 正明 議員

- 1.教育行政の今後について

■熊田 昭次 議員

- 1.地域自治組織について
- 2.さわやか現道舗装進捗と対応について

■半澤 隆 議員

- 1.原発事故後の諸問題に対する今後の対応について
- 2.市営住宅の定期点検とメンテナンスおよび今後の計画について
- 3.ドクターヘリ等に対するヘリポートの整備について

■6月12日登壇

■大條 一郎 議員

- 1.地域包括ケアシステムの構築について
- 2.遅れてやってきた「大物ゆるキャラ」と婚活支援について
- 3.I Cウォークへの取り組みについて
- 4.除雪対策と除雪機の配備について

■佐藤 清壽 議員

- 1.原発ゼロの日本を実現するためについて
- 2.伊達市の除染について
- 3.社会保障制度について

■菊地 邦夫 議員

- 1.伊達市の福祉施策について
- 2.伊達市の教育施策について
- 3.「住みたいまち、住んでよかったまち伊達市」のまちづくりについて

■高橋 一由 議員

- 1.安心安全な除染について
- 2.固定資産税課税休止と市民への代償について
- 3.婚活・就労・復興へのまちづくりについて

■佐藤 実 議員

- 1.伊達市に必要な都市計画の考え方について

■6月13日登壇

■原田 建夫 議員

- 1.教育行政について

■地域自治・地域包括ケアシステムの構築



佐藤 直毅 議員

組織の予算に反映したいと考えています。

による持続可能な社会づくりを目標としております。その目標とする地域づくりを推進する活動拠点となる施設が交流館です。

来年度から交流館を自治組織の運営にする予定ですが、進捗状況と進行管理について伺います。

公民館を交流館に移行した目的を伺います。
市では少子高齢化・人口減少社会が進行する中、地域が自治能力を高め、地域課題を地域で検討・解決し、地域力向上

地域説明会やワークショップなどを開催しながら、地域自治組織の理解と設立を進めていきます。10月中旬には自治組織による地域づくり計画の策定、12月には事業計画を作成して

来年度から介護保険制度が改正になり、要支援者に対する介護予防給付が市町村を事業主体とする地域支援事業に見直されます。現在、第6期計画を策定中ですが、在宅医療と介護の連携推進について伺います。

団塊の世代が75歳以上となる平成37年度まで、残り10年間です。地域包括ケアシステムの構築が、急務であると考えます。認知症対策をはじめ、在宅医療と介護の連携の取り組みを本格化していきます。

■伊達市の新たな自治組織について



八巻 善一 議員

して、1団体20万円プラス100円×世帯数についての意図を伺います。

自治組織が立ち上がった段階で、自治組織の運営交付金、補助金ということと考えています。

地域課題の解決に取り組む事業支援で、1団体当たり40万円という意図を伺います。

地域自治組織が設立されて、その地域の特徴ある事業に取り組み事業費の補助金ということです。

事業について、複数行う場合にも、1団体について

合計40万円なのか伺います。

できるだけ特色ある事業というところで、地域の大きな課題に取り組むということが要件の部分であり、いくつか取り組んだとしても40万円の範囲内で交付するということです。

新たな自治組織の運営費支援、基礎交付金の中身について伺います。

これから地域自治組織の地域づくり計画ができてきますので、組織の運営交付金のようなかたちで、一括的な考えで交付して、地域において使い勝手のよい予算の交付金を交付したいと考えています。

6月定例会

平成26年第4回伊達市議会定例会は6月5日に招集され、6月24日までの20日間の会期で開催されました。市長から提案された案件は、専決処分報告2件、報告6件、人事3件、条例改正6件、条例廃止2件、補正予算2件、その他7件の計28件でした。さらに、補正予算1件、その他2件の合計3件が追加提案されました。これらの案件は、一部を除き所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案のとおり可決しました。

ほかに、委員会発議の意見書1件についても原案のとおり可決しました。

■条例

●伊達市条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正等に伴い、所要の改正を行いました。

●伊達市特別措置条例の一部を改正する条例

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第20条の地方公共団体等を定める省令の一部改正に伴い、所要の改正を行いました。

●伊達市国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正等に伴い、所要の改正を行いました。

●伊達市障がい者地域生活支援事業に関する条例の一部を改正する条例および伊達市重度心身障がい者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴い、所要の改正を行いました。

■土曜学習（体力づくり）は希望者で実施



丹治 千代子 議員

果、実施することになったのか伺います。

A 当市においては、教育委員会の管理下における活動、土曜日の教育活動として、震災後、子どもたちの体力の低下を受けて、体力向上に資するため計画しました。

Q 土曜学習を実施するにあたり、保護者や教職員、子どもたちの意見をお聞きになったか伺います。

A 今般の取り組みについては、社会教育分野における少年教育事業という位置づけをし

ていますので、関係する委員会と相談しましたが、学校・保護者からの意見聴取は行っていない。

Q 実施主体は教育委員会でしょうか。

A 教育委員会が主催する事業ということで、実施したいと思っています。

Q 対象者は全員でなく、希望者ということでしょうか。

A 土曜学習は、自由参加方式で実施したいと思っています。今年度は、保原小学校と梁川小学校で実施したいと思っています。

■不法投棄への監視カメラの導入について



菅野 喜明 議員

監視カメラがありますが、擬似的なものは市でも購入しており、本来の監視カメラは今年度、県から借用可能な状況なので、そちらを設置することも考えております。

Q 小国小学校の通学路に線量の高いところがあります。

A 将来、通学路の使用を再開する前に、保護者から要望があれば除染などの対応をするのか伺います。

A 除染は線量を減らすためにしますので、要望があればやるというものではありません。しかし、線源があって気にな

るのであれば、ケース・バイ・ケースで対応します。

Q 平成26年度の旧特定避難勧奨地点地区の米の作付け率と耕作放棄地の対策について伺います。

A 平成22年度を1000とし、富成地区で66%、小国地区で40%です。耕作放棄地への対策として、農地中間管理機構を活用し、8月から農地拡大の希望者を公募する予定です。小国地区から農地集積のモデル地区にしてほしい要望があった場合は、国・県につなぐことも検討したいと思っています。

●伊達市梁川福祉会館条例の全部改正

伊達市梁川福祉会館の改修に伴い、伊達市梁川福祉会館条例の全部の改正を行いました。

●伊達市特別導入事業基金条例を廃止する条例

国の家畜導入事業を受けて運用してきた特別導入事業基金制度の終了および基金への貸付金償還も完了し、事業が終了したことに伴い、伊達市特別導入事業基金条例を廃止しました。

●伊達市議会の議決すべき事項に関する条例を廃止する条例

伊達市議会基本条例の一部改正に伴い、重複する内容が盛り込まれたため、伊達市議会の議決すべき事項に関する条例を廃止しました。

■補正予算

●平成26年度伊達市一般会計補正予算（第1号）

1億4078万3千円を増額し、予算総額を339億2378万3千円としました。

補正予算の主なものは、放射能対策事業として、旧作付制限区域の営農再開に向け、畦畔の漏水対策経費などの農地等除染対策事業2314万円、あんど柿産地を再生するため、効果等の検査費用を補助する農産物モニタリング調査事業391万7千円、さらに消費者行政活性化交付金を活用した風評被害対策事業として、生産者と消費者の交流や産品の販売を行うため675万1千円、首都圏の方々を対象に農産物生産者との交流により、農産物の消費拡大を図る「だてな暮らし体験ツアー事業」224万円などを計上しました。

また、その他として、特別養護老人ホーム「孝の郷」増床分について補助する地域介護・福祉空間整備交付金1200万円、農地中間管理機構から農地の集積、集約業務の一部を受託する農地中間管理事業47万円、稲作振興のため穀類乾燥調整施設およびコンバインの導入を支援する農業振興支援事業2715万3千円などを計上しました。

■防災無線のデジタル化について



佐々木 彰 議員

Q 防災無線のデジタル化については、今年度予算化され、まもなく事業に着手されます。デジタル化により、どのようなことが改善されるのか質問します。

A デジタル化により、周波数が統一され市内全域の相互通信が可能になります。またメールの配信システムが付加され、緊急情報を登録制により、市民の携帯電話への配信が可能となります。これは6万5000人登録可能となっています。その他にも雨量情報収集機能、庁舎内の内線電話との接続、電話の通話と同様に話しが同時にできるなどの多様な機能が利用できるようになります。

Q 不感地域を解消するため、本庁舎の統制局の他に梁川と月館に基地局が設置されます。電源が喪失すると無線の使用ができなくなりますが、それぞれの局での非常時の電源はどのように備えていますか。

- 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
5030万4千円を増額し、予算総額を75億7765万9千円としました。
- 人事
- 人権擁護委員候補者の推薦意見
2人の人権擁護委員の任期満了および1人の退任に伴い、法務大臣に人権擁護委員の候補者として推薦するにあたり適任であることに決しました。
菅野 益芳さん(伊達市保原町)
金子由美子さん(伊達市保原町)
安藤 實さん(伊達市霊山町)
- その他
- 伊達市道路線の廃止および認定
市道東中川原線の先、民間開発整備事業に伴い、終点が変更となるため中川原6号線および中川原線を廃止し、新たに中川原7号線および中川原8号線を認定することにしました。
- また、県道丸森梁川線の先、市道江越堂庭線までの道路新設改良事業に伴い、新たに上並松2号線を認定しました。
- 工事請負変更契約の締結について
梁川小学校改築建築主体工事に掛かる労務単価の改正に伴い、インフレ条項の規定により、変更契約を締結することを可決しました。
- 工事請負契約の締結について
伊達市移動系防災行政無線施設整備工事請負契約、栗野小学校屋内運動場改築工事請負契約および堰本小学校屋内運動場改築工事請負契約を締結することを可決しました。
- 土地の取得について
梁川屋内外運動場用地を取得することを可決しました。

■消費税増税、国保事業について問う



近藤 眞一 議員

Q 消費税増税による低所得者世帯への影響を考慮して、何らかの市独自の支援策を講ずる考えはあるのか伺います。

A 市独自ではありませんが、所得の低い人の負担を

緩和する暫定的、臨時的な措置で臨時福祉給付金があり、支給していく考えです。

Q それはこういった制度で対象者、申請方法、案内など具体的に決まっているのか伺います。

A 今年度、国から制度の説明があり、担当課で周知方法を検討しています。7月中には、対象者にお知らせできると考えております。

Q 国保税1世帯1万円の引き下げを求めるが、見解を伺います。

A 保険税の引き下げ、引き上げについては、歳入の不足分を被保険者が負担する原則であり、医療給付会計という目的に沿った運営制度ということで、ご理解いただきたいと思います。

Q 国保広域化による、伊達市の国保事業に対する影響を伺います。

A 県が保険者になった場合の保険料徴収事務、被保険者に密着した特定健康診査、特定保健指導などの保健事業については、これから多くの問題点も想定されています。状況に応じて、柔軟な制度設計が求められていると考えています。

■県北浄化センターの汚泥処理について



小野 誠滋 議員

Q 場内に汚泥乾燥設備を建設する運びとなり、環境改善が大いに期待されるところであります。現在までの進捗状況及び今後の処理の取り組みについて伺います。

A 建設契約が、平成26年3月に行われ、平成27年3月に完成予定となっております。平成27年7月より稼動し、平成29年3月までの2年間の予定で処理する計画であります。処分搬出については、飯館村の蔵平に減容化施設が建設される運びとなっております。そこで処理すると聞いています。

Q 原発事故後の防火水槽の汚泥の処理について伺います。

A 市には、蓋なしの防火水槽は328基あります。放



県北浄化センター

射能対策課などで調査しており、今の段階で、汚泥を上げてても特に問題はないと思います。

■教育行政の今後



中村 正明 議員

Q 今年3月、湯田健一教育長が再任されました。どのような理念、ビジョンを持って教育の諸課題に取り組まれるか伺います。

A わたしは、知、徳、体のバランスのとれた、たくましい人間の育成に努力しており、引き続き学力、体力、品性高い伊達市子どもたちにしたいと考えております。さらに、読書の盛んな伊達市となり、将来あらゆる分野において、キラ星のごとく活躍する人材を輩出する伊達市にしたいと考えております。

Q 学校統廃合の考えを伺います。

A 保護者および地域住民への十分な説明と理解、地域振興策との連携を最大限考慮すること。議員ご指摘のように、児童数の減少は急激なものがあり、小

学校はこのままで進むとは考えておりませんので、検討していきたいと思えます。

Q 「危険多い通学路、安全対策を施して」というタイトルで、伊達市内の女子中学生が、先日、新聞に投稿していました。市の対策・対応についてお伺いします。

A 平成24年8月に関係部署と連携し、通学路の点検を行いました。今年度、伊達市通学路交通安全プログラムを策定することとしております。歩道整備、街灯整備など計画策定の中で関係部署と協議し、順次進めていく予定であります。

■追加議案

【補正予算】

●平成26年度伊達市一般会計補正予算（第2号）
3990万円を追加し、予算総額を339億6368万3千円としました。

補正予算の内容は、国立競技場解体に伴いスタンド座席2800席の譲渡が決定したことにより、撤去運搬費用および保原総合公園野球場への設置費用として3990万円を増額計上し、その財源を復興きずな基金繰入金3990万円としました。

【その他】

●工事請負契約の締結について

梁川認定こども園建築主体工事請負契約および梁川小学校プール建設工事請負契約を締結することを可決しました。

■委員会発議（意見書）

6月定例会で可決した次の意見書を関係大臣等に送りました。

●手話言語法制定を求める意見書の提出について

議会広報特別委員会を設置

平成25年度の議会広報広聴特別委員会で調査研究した最終報告に基づき、今後は、具体的な広報機能の充実に特化し、議会だよりの刷新を目標にすえながら、さらに改革の推進を図るため、住民との連携や情報発信を強化する必要があります。

市民に開かれた議会を目指し、「伝える広報」から「伝える広報」を目指した議会における広報全般の調査検討を行います。

■議会広報特別委員会（委員長 中村 正明、副委員長 大條 一郎、委員 菅野 喜明、佐藤 実、佐々木 彰、佐藤 直毅）

◎大條 一郎 ◎菅野 喜明 中村 正明
佐藤 実 佐々木 彰 佐藤 直毅

■地域づくりと現道舗装について



熊田 昭次 議員

向けて進んでいるところであり、今年度に設立されるといいうことで認識しています。

Q 地域の課題と計画について、具体的な支援策を伺います。

A 町内会活動など、また地域自治組織活動と同一に併合するか、地域の中で話し合いが重要です。組織づくりの段階で17万円、概ね運営経費などとして、当初は1団体当たり20万円に世帯数×100円、地域課題解決事業費に40万円を交付します。

Q さわやか現道舗装の予算と経過について伺います。

A 今年度予算、伊達2690万円、梁川5260万円、保原4010万円、霊山・月舘2090万円となっております。基本的には現道に舗装をする事業でありましたが、近年、従来の施工場所、環境と若干違う部分もあり、舗装に伴う雨水、排水処理の問題、また、隣接構造物、占用物件などとの調整、さらには、一部境界の確認などもあり、従来の手法では、なかなか難しいということがあります。

■原発事故後の諸問題の対応について



半澤 隆 議員

回測定し、放射線量マップを作っています。

Q 今年6月、旧特定避難勧奨地点の相葭地区の線量は0.52マイクロシーベルト、文部省が設置した平馬山の線量は0.78マイクロシーベルトになっています。市では、正確なデータを把握されていないのではないですか。正しい放射線量の数値を伺います。

A 9回、放射線量の測定をしています。

Q 平馬山地区に対しての、賠償を含めた積極的な対応

が必要ではないか伺います。

A 今まで、対応はしてきたつもりです。今後の検討課題だと思っています。

Q 市営住宅の定期点検とメンテナンスおよび今後の計画を伺います。

A 定期点検は、建築基準法に基づいて、3年に1度3階以上の共同住宅で、1000平方メートル以上の建築物を実施しています。その他については、職員が随時、不定期で目視で行っています。年間の修繕費の予算は、1291万円で、老朽化した市営住宅の改築は考えていません。

8月臨時会

平成26年第5回伊達市議会臨時会は8月7日に招集されました。市長から提案された案件は、その他2件でした。これらの案件は所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案のとおり可決しました。また、議員発議1件についても原案のとおり可決しました。

■その他

●**工事請負契約の締結について**
梁川屋内運動場建築工事請負契約を締結することを可決しました。

●**財産の取得について**
上保原屋内運動場に設置する遊具を取得することを可決しました。

■議員発議

●事務検査に関する決議

平成25年度Cエリア市道側溝除染業務委託において、一部未施工箇所があると公表されている件について、地方自治法第98条第1項の規定により、再発防止と今年度のCエリア市道側溝除染が適正かつ速やかに執行されるよう、事務検査を要するものとし決議しました。

調査特別委員会を設置

事務検査に関する決議により、市道側溝除染業務委託等に関する調査特別委員会を設置しました。

■市道側溝除染業務委託等に関する調査特別委員会

(◎委員長 ○副委員長)

◎熊田 昭次 ○中村 正明 橘 典雄

佐藤 清壽 佐藤 直毅 佐々木 彰

小野 誠滋 佐藤 実 高橋 一由

清野 公治 滝澤 福吉

「地域包括ケアシステムの構築」について



大條 一郎 議員

Q この計画の大きな柱として、認知症対策の取り組みがあります。本市の認知症サポーターキャラバンを含めた現状と今後の施策について伺います。

A 認知症サポーターにつきましても、現在2744人おります。また、市民に対して講習会を実施して、認知症サポーターの養成を行うキャラバンメイトは43人です。今後、研修会を開催して、サポーターの養成に努めていきたいと考えております。

Q 認知症になっても安心して暮らすことができる地域づくりが求められています。徘徊SOSネットワークへの取り組みが必要と考えます。所見をお伺いします。

A 徘徊する認知症高齢者を少しでも早く発見できるように、現在、地域包括ケアを支える伊達ネットワーク委員会において検討されています。今後、模範訓練を行って効果的なネットワークをつくっていく予定であります。

「除雪対策と除雪機の配備」について

Q 大雪対策として、町内会や小・中学校に除雪機を配備してはと考えます。所見をお伺いします。

A 生活道路や、通学路の除雪については大変効果があると思います。配備することで対応していきます。

伊達市の除染について問う



佐藤 清寿 議員

Q 人が安心して暮らせる原発事故の前の状態に戻すことは、原発事故を起こした加害者の東電と国の責任です。市民は、なんの過失もない被害者です。除染は、まさに元の地域環境に戻す

ことです。その除染の進捗状況を伺います。

A 早急に汚染防護の考え方に基つき、いち早く除染に取り組み、その結果A・Bエリア、Cエリアを含めまして、一通りの住宅除染、生活圏の除染を早めに行うことができたと考えています。

Q 市民の納得に基づいての市内全域除染は、放射能汚染からの復興ではないでしょうか。全戸除染を実施していくべきと考えますが、Cエリアの調査、

回答に対しての対処を伺います。

A 不安のないように、個々に訪問、聞き取りをして対応しています。目標としている1ミリシーベルトは達成してると考えています。

Q 市道側溝の堆積物からの放射能の不安があり、側溝の除染の要求が多くあります。側溝の放射能調査と歩道の除染を早くやるべきと考えますが、側溝の除染計画を伺います。

A 道路側溝の除染は、今、実施のための事務手続きと準備を行っています。準備が整い次第、実施になると考えています。

みなさんからの請願・陳情

6月定例会で受理したのは、請願5件、陳情4件の合計9件でした。所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決しました。また、6月定例会で継続審査となっていた請願1件については、8月臨時会で採決しました。

採決の結果	請 願 件 名	請 願 者
採 択 (文教福祉常任委員会)	「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書	〒960-81 福島市渡利字七社宮 代表 一般社団法人福島県聴覚障害者協会 会長 吉田正勝 ほか
不採択 (総務生活常任委員会)	「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書	〒960-06 伊達市保原町字市柳町 社会民主党伊達総支部 代表 清野辰夫
不採択 (総務生活常任委員会)	「集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書」の提出を求める請願書	〒960-06 伊達市保原町字市柳町 社会民主党伊達総支部 代表 清野辰夫
不採択 (文教福祉常任委員会)	「さらなる年金削減の中止を求める」意見書提出を求める請願	〒960-06 伊達市保原町字旭町 全日本年金者組合伊達総支部 支部長 菅野顕光

■伊達市の福祉並びに教育施策について



菊地 邦夫 議員

Q 伊達市内の認定要介護者の施設入所状況について伺います。

A 特別養護老人ホーム入所者470人、介護老人保健

施設197人、介護療養型医療施設39人、地域密着型339人、ほか、居宅において介護サービスを受けている方2448人です。施設入所待機者は387人です。

Q 中央教育審議会の答申で、教師が以前に比べ多忙になり、子どもと触れ合う時間が確保できないという指摘があり、今後、学校が処理する事務、業務の見直しや国、都道府県、市町村が行う調査などの精選により、学校の負担軽減を図ることが必要で

あると述べられていますが、伊達市教育委員会ではどのように考えているのか伺います。

A 伊達市の中では、できるだけ書類関係を簡略化したり、改善すべきところを改善しまして、子どもたちと触れ合うことが大事だと思っております。先生方から、大変忙しいとは聞いておりますが、何とか他市に先駆けて、伊達市の先生方は、子どもたちと触れ合うように、改善していきたいと考えております。

■公約どおりに、Cエリア除染を



高橋 一由 議員

Q 今年1月の市長選挙時、後援会報に大きく掲げた「Cエリアも除染して復興を加速」という公約、市民はA・Bエリア同様、全面除染が実施されるものと信じ、期待したと思うが、現在進められているCエリア除染は全

く違っている。市長は現況に違和感はないのか。

A 何ら違和感を持つておりません。再調査し、必要があれば除染するという意味であります。Cエリアはホットスポット除染とし、ほぼ終了しました。今年度は不安の残る方を調査確認し、フォローアップ除染に取り組んでいくということでありです。

Q 市民の期待に応え、復興を加速するためにも、全面除染に改めるべきではないか。結論から言えば、改める考えはありません。

Q 先般、各市町村から県へ除染費用の返却があり、半分以上の80億円が伊達市と聞いた。これはどういうことか、次年度に繰り越すこともできたのでは。

A 他市町村と比べれば、われわれは適正にやった結果です。実務上の手続きです。

Q 「Cエリアも除染して復興も加速」このチラシを見て除染してもらえると信じ、期待した市民が悪いのか。公約違反だ。とにかく信任を得たわけですから、市長としての使命を全うしていきたいと思っております。

採決の結果	請 願 件 名	請 願 者
6月定例会 継続審査 8月臨時会 趣旨採択 (産業建設常任委員会)	「労働者保護ルールの改悪に反対する意見書」の提出を求める請願書	〒960-06 伊達市保原町字市柳町 社会民主党伊達総支部 代表 清野辰夫
採決の結果	陳 情 件 名	陳 情 者
不採択 (産業建設常任委員会)	住民の命を守る住宅の耐震化を促進するために耐震改修助成制度の創設・拡充を求める陳情書	〒960-80 福島市宮下町 全建総連 委員長 宮地 明
採 択 (産業建設常任委員会)	地域経済の活性化と住民の住環境改善のために住宅リフォーム助成制度を創設・拡充・継続を求める陳情書	〒960-80 福島市宮下町 全建総連 委員長 宮地 明
不採択 (産業建設常任委員会)	住民の命を守る住宅の耐震化を促進するために耐震改修助成制度の創設・拡充を求める陳情書	〒960-02 福島市飯坂町湯野字暮坪前 福島県飯坂建設組合 組合長 佐藤 昇
採 択 (産業建設常任委員会)	地域経済の活性化と住民の住環境改善のために住宅リフォーム助成制度を創設・拡充・継続を求める陳情書	〒960-02 福島市飯坂町湯野字暮坪前 福島県飯坂建設組合 組合長 佐藤 昇

■伊達市に必要な都市計画は



佐藤 実 議員

できないものか伺います。

Q 決定権を持つ県との協議の中で、少子高齢化、人口減社会の中では、区域拡大にはならないとの見解で、県の理解をいただけない状況にあります。

Q 都市計画を策定する際、市民ニーズに応えることが大切だと考えますが、所見を伺います。

A 伊達市も人口減ではあります。世帯数は増えている現状であります。市の考える都市計画を理解してもらうため、今

後も県と協議を行っていきます。

Q 東北中央自動車道の建設によるインターチェンジ設置などで、都市計画はじめ、企業誘致、雇用の創出など、市政伸展にとつて大きなチャンスだと考えますが、今後の取り組みについて伺います。

A 今、高速道路の計画により、新たな展開、環境の変化が起きています。今の枠組みでやらざるを得ませんが、一定の条件のもとで地域計画をつくるなど、現実的な対応をするため、県との協議を加速化していきます。

■教育行政について



原田 建夫 議員

針を伺います。

A 基本方針は定めてあります。すが、具体的な検討の時期と認識しています。地域、保護者の理解を得ることが大事であり、教育委員の意見を聞き進めます。

Q 最先端の情報技術を使った電子教材、デジタル教科書の授業導入が全国的に増えています。子どもたちも興味を持ち、家庭学習に意欲の向上が見られます。ICT（情報通信技術）環境の整備状況を伺います。

A 教育用コンピュータ整備事業により、小・中学校のパソコン周辺機器ソフトウェア

の整備をします。台数は、1417台。事務、校務支援システムとして、教職員間で情報交換できるネットワークの構築。また、電子黒板は、梁川小学校に整備、ほかの小・中学校にも整備します。

Q 堰本小学校の通学路は、狭あいな道路のうえ、交通量も増え、大変危険な状況にあります。安全確保および危機管理体制の整備状況を伺います。

A 通学路の安全点検は、全ての小・中学校で、毎年度春実施しています。教育委員会では、対応策を取りまとめ、作業を進めしっかりと検討していきます。

議員3人が表彰を受賞

全国市議会議長会

5月28日東京の日比谷公会堂で開催された第90回全国市議会議長会定期総会において表彰式が行われ、地方自治の発展に寄与した功労により、本市議員では一般表彰として3人が受賞され、齋藤前議員には6月3日に正副議長室において、半澤議員と佐藤議員には6月定例会初日（5日）の開会に先立ち表彰状の伝達が行われました。

議員在職15年以上

齋藤 和人 前議員

（正副議長室で伝達）

議員在職10年以上

半澤 隆 議員
佐藤 実 議員



▶安藤議長から伝達を受ける齋藤和人前議員（右）



▶半澤隆議員（右）と佐藤実議員（左）

『公表します 政務活動費』

本市では、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、議員一人当たり月額3万円の政務活動費を所属の会派（会派に所属しない場合は議員）に交付しています。

その収支については、毎年度議長に報告し、残額がある場合は、市に返還しています。

平成25年度の会派別の収支状況は次のとおりです。収支報告書の内容については市議会ホームページ

にも掲載しています。

また、9月以降、収支報告書の写しは議会図書室で閲覧できますので、議会事務局までお問い合わせください。

※平成24年度までは政務調査費として交付されていましたが、地方自治法の改正に伴い平成25年度からは名称が「政務活動費」に変更され、用途が拡大されました。

平成25年度 政務活動費精算一覧表

(単位：円)

会 派 名		創 志 会	フォーラム伊達	志政クラブ	日本共産党 伊達市議団	「きょうめい」	民 の 会	伊 達 市 民 ク ラ ブ	無 会 派	無 会 派	合 計
会 派 構 成		安藤喜昭 菅野與志昭 佐々木彰	滝澤福吉 大和田俊一郎 佐藤直毅	熊田昭次 原田建夫 大橋良一 小野誠滋 清野公治 松本善平 齋藤和人	佐々木英章 菅野富夫	八巻善一 高橋一由 菅野喜明	佐藤 実 佐藤 勲 丹治千代子	菊地邦夫 半澤 隆	大條一郎	吉田一政	
収入 内訳	交 付 額	1,080,000	1,080,000	2,520,000	720,000	1,020,000	1,080,000	720,000	360,000	360,000	8,940,000
	利 子	65	47	116	33	65	117	48	39	43	573
会派の収入合計		1,080,065	1,080,047	2,520,116	720,033	1,020,065	1,080,117	720,048	360,039	360,043	8,940,573
支 出 内 訳	研 修 費	517,037	138,760	422,435	152,899	106,190	110,220	240,600	5,000	0	1,693,141
	調査研究費	51,316	98,156	1,046,558	177,498	98,456	0	84,390	0	0	1,556,374
	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	21,630	21,630	64,890	21,630	21,630	14,010	21,630	0	21,630	208,680
	会 議 費	0	0	0	16,380	0	0	0	0	0	16,380
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	27,450	37,150	20,630	0	185,748	27,450	10,230	52,185	0	360,843
	広 報 費	0	198,005	0	248,691	0	0	0	0	0	446,696
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 諸 費	0	0	201,600	0	71,402	0	0	0	0	273,002
	その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会派の支出合計		617,433	493,701	1,756,113	617,098	483,426	151,680	356,850	57,185	21,630	4,555,116
収 支 差 引 額 (市への返還額)		462,632	586,346	764,003	102,935	536,639	928,437	363,198	302,854	338,413	4,385,457

※ 無会派 中村正明議員は、政務活動費の交付申請を行っていないため、掲載されていません。

【政務活動費用途基準】

研 修 費	研修会・講演会の開催に要する会場費、講師謝金等の経費または研修会・講演会の参加に要する会費、旅費等の経費
調 査 研 究 費	先進地調査または現地調査に要する旅費、調査委託に要する経費
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	要請・陳情を行うために要する旅費、印刷製本費等
会 議 費	会派が行う会議の開催に要する会場費、他の団体が開催する意見交換会等会議の参加に要する会費、旅費等の経費
資 料 作 成 費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する印刷費、写真代、消耗品等の経費
資 料 購 入 費	会派が行う活動に必要な新聞、図書、雑誌等の購入費
広 報 費	調査研究活動・議会活動および市の施策等の広報活動に要する印刷費、会場費等の経費
広 聴 費	市民からの市政に対する要望・意見を聴取するための会議開催に要する会場費、資料印刷費等の経費
事 務 諸 費	パソコン等の事務機器リース・購入、事務消耗品等の購入、通信等に要する事務経費
そ の 他 経 費	上記以外で会派が行う活動に必要な経費

6月定例会賛否一覧表

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

議案等 議席番号 議員名	議案第63号 工事請負変更契約の締結について (梁川小学校改築建築主体工事)	議案第67号 土地の取得について (梁川屋内外運動場用地)	議案第69号 工事請負契約の締結について (梁川認定こども園建築主体工事)	議案第70号 工事請負契約の締結について (梁川小学校プール建設工事)	請願第5号 「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書	請願第6号 「集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書」の提出を求める請願書	請願第7号 「さらなる年金削減の中止を求める」意見書提出を求める請願	陳情第3号 陳情第5号 住民の命を守る住宅の耐震化を促進するために耐震改修助成制度の創設・拡充を求める陳情書
1 近藤 眞一	○	○	○	○	○	○	○	○
2 橋 典雄	○	○	○	○	●	●	●	●
3 佐藤 清壽	○	○	○	○	○	○	○	○
4 菅野 喜明	○	○	○	○	●	●	●	●
5 佐藤 直毅	○	○	○	○	●	●	●	●
6 丹治千代子	○	○	○	○	○	○	●	●
7 大和田俊一郎	○	○	○	○	●	●	●	●
8 菊地 邦夫	○	○	○	○	●	●	●	●
9 佐々木 彰	○	○	○	○	●	●	●	●
10 小野 誠滋	○	○	○	○	●	●	●	●
11 佐藤 実	○	○	○	○	●	●	●	●
12 大條 一郎	○	○	○	○	●	●	●	●
13 菅野與志昭	○	○	○	○	●	●	●	●
14 中村 正明	●	●	●	●	●	●	○	●
15 高橋 一由	○	●	○	○	●	●	●	●
16 熊田 昭次	○	○	○	○	●	●	●	●
17 清野 公治	○	○	○	○	●	●	●	●
18 原田 建夫	○	○	○	○	●	●	●	●
19 半澤 隆	○	●	○	○	●	●	●	●
20 八巻 善一	○	○	○	○	●	●	●	●
21 松本 善平	○	○	○	○	●	●	●	●
22 吉田 一政	○	○	○	○	●	●	●	●
23 滝澤 福吉	○	○	○	○	●	●	●	●
24 大橋 良一	○	○	○	○	●	●	●	●
25 安藤 喜昭	議長は採決に加わらない							
賛成：反対	賛成23：反対1	賛成21：反対3	賛成23：反対1	賛成23：反対1	賛成3：反対21	賛成3：反対21	賛成3：反対21	賛成2：反対22
議決結果	可決	可決	可決	可決	不採択	不採択	不採択	不採択

9月定例議会の予定

○9月4日(木)午前10時に招集される予定です。伊達市議場（伊達市役所保原本庁 議会棟3階）
※なお、詳しい審議日程は、議会運営委員会で決まります。【電話 024-575-1217】

編集後記

7月から健康運動教室に
い始めました。健康運動教室
は健康都市の一翼を担う健康
施策です。教室に通って良
かった点は、積極的に歩くよ
うになったことと血圧が下
がったこと。血圧は当初、上
が150程度でしたが現在は
130前後で安定していま
す。先日、体力測定の結果が
出てビックリ、なんと体力年
齢62歳。実年齢52歳までなん
とか頑張らねば。

立秋も過ぎ、暦の上では秋
ですが、まだまだ厳しい残暑
が続いています。しっかり食
べて、しっかり飲んで、しっ
かり運動して、この暑さを乗
り切りたいと思います。皆様
も健康に留意され、健やかに
お過ごしください。
(直)

議会広報委員会

委員長 大條 一
副委員長 菅野 喜明
委員 中村 正明
委員 菅野 明
委員 佐藤 彰
委員 佐々木 直毅